

# 施策分析シート

No1

<b>施策名</b>	介護予防の推進	<b>施策No</b>	09-02	<b>部課名</b>	福祉部 福祉高齢者課	<b>課長名</b>	谷嶋 弘 内線 2610
<b>関連部課名</b>							
<b>行政評価事業体系</b>	<b>分野</b>	健康・福祉・子育て					
	<b>政策</b>	安心と生きがいを実感できる高齢社会の形成					
<b>目的</b>	高齢者がいつまでも健康で生きがいをもって日常生活を送ることができるよう、介護予防のための施策を推進する。						
<b>指標</b>	<b>施策の成果とする指標名</b>	<b>指標の推移</b>				<b>指標に関する説明</b>	
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (28年度)		
	①	健康推進リーダー活動者数	103	142	160	300	荒川ころばん体操・荒川せらばん体操、おたっしやランチ等リーダー
	②	高齢者会食サービス参加者数	18	79	230	350	おたっしやランチ・おげんきランチ参加実人数
	③	荒川ころばん体操参加者数	1,316	1,418	1,600	2,000	実人数
	④	荒川せらばん体操参加者数	81	120	100	100	実人数
⑤							
<b>現状と課題</b>	<p>○高齢者の介護を社会全体で支える新しいしくみとして平成12年4月にスタートした介護保険制度が改正され、平成18年4月から施行された。今回の制度改正の位置づけの一つとして、「予防重視型システムへの転換」が謳われており、介護予防への取り組みが重要となってきている。</p> <p>○平成17年11月に実施した荒川区高齢者生活状況調査では、病気予防、健康維持のために必要なことは「自分や家族の生活習慣の改善や健康づくりについて関心を持つこと」（55.1%）が最も多かった。また、この1年間で転倒した経験の有無は、「ある」が22.5%を占めている。一方、各種保健福祉サービスの利用状況では、「現在参加している」という事業は、全体として少ない状況である。</p>						
<b>今後の方向性</b>	<p>○高齢者の日常生活動作の低下を未然に防止し、生活機能を維持・向上させるための介護予防の推進を図っていく。また、介護予防懇談会を設置し、荒川区の介護予防の課題や新たに取り組む介護予防施策などについて検討する。</p> <p>○より多くの高齢者に介護予防の取り組みを広く普及するため、「4万人の筋力アップ大作戦事業」として、介護予防シンポジウムや転倒予防サミット等を実施する。</p>						

施策の優先度	優先度についての説明・意見等
A	高齢者の増加に伴い、介護予防の取り組みが重要である。

# 施策分析シート

No2

施策を構成する事務事業の優先度					
事務事業名	事務事業No	決算額（千円）		施策推進のための優先度	優先度についての説明・意見等
		平成16年度	平成17年度		
転倒予防普及啓発事業費	06-01-48	—	—	A	介護予防事業を広く周知し、取り組みを検討していく
尿失禁予防教室	06-01-68	—	61	B	予防運動プログラムの指導を図る
口腔保健教室	06-01-69	—	—	B	咀嚼能力の低下を早期に発見し、食の機能の維持向上を図る
荒川ころばん体操	06-01-70	370	1,630	A	高齢者の転倒予防を図る
荒川せらばん体操	06-01-71	4,531	6,352	A	虚弱高齢者の身体機能の改善を図る
ふれあい健康教室	06-01-72	2,210	2,170	C	現状の規模で実施する
学校給食を活用した会食サービス事業費（おたっしランチ）	06-01-73	64	777	A	地域支援事業として、閉じこもり予防や栄養改善を図る
高齢者施設を活用した高齢者会食サービス（おげんきランチ）	06-01-74	—	—	A	地域支援事業として、閉じこもり予防や栄養改善を図る
認知症予防教室	06-01-75	262	217	B	認知症予防グループへの運営、交流の支援を図る
低栄養予防教室	06-01-76	—	—	B	早期に低栄養のリスクを発見し食生活の改善を図る
認知症予防講演会（一般・家族）	06-01-78	26	82	C	認知症についての普及啓発を図る
尿失禁予防講演会	06-01-79	—	—	B	尿失禁は閉じこもりの誘因になりやすいため普及啓発を図る
健康推進リーダー育成	06-01-80	225	456	A	介護予防事業を広く展開するうえで必要性が高い
日暮里地域包括支援センター事業費	06-01-81	—	—	A	地域の中核機関としての役割は重要である
尾久地域包括支援センター事業費	06-01-82	—	—	A	地域の中核機関としての役割は重要である
南千住地域包括支援センター事業費	06-01-83	—	—	A	地域の中核機関としての役割は重要である
荒川地域包括支援センター事業費	06-01-84	—	—	A	地域の中核機関としての役割は重要である
町屋地域包括支援センター事業費	06-01-85	—	—	A	地域の中核機関としての役割は重要である
出張健康相談	06-01-88	797	797	C	現状の規模で実施する
高齢者等配食見守りサービス事業費	06-01-89	9,760	8,211	C	現状の規模で実施する
介護予防相談体制の整備	06-01-93	—	9,468	D	地域支援事業に再編
日暮里在宅介護支援センター事業費	06-01-96	10,459	10,441	D	地域包括支援センターに移行
尾久在宅介護支援センター事業費	06-01-97	11,062	15,732	D	地域包括支援センターに移行
南千住在宅介護支援センター事業費	06-01-98	10,870	11,069	D	地域包括支援センターに移行
荒川在宅介護支援センター事業費	06-01-99	11,578	16,332	D	地域包括支援センターに移行
町屋在宅介護支援センター事業費	06-01-100	9,234	11,027	D	地域包括支援センターに移行
合 計		71,448	94,822		